

＜補足資料＞

百年の信頼を未来につなげる

# 2018年3月期決算説明会

## 株式会社鳥羽洋行

2018年5月14日（月）

1. 2018年3月期決算の状況
2. 2019年3月期の業績予想
3. 2019年3月期の活動
4. 株主還元

# 1. 2018年3月期決算の状況

## <2018年3月期のハイライト>

### ◇過去最高売上を**更新**（連結ベース）

- ・ 売上高は前年比**28.5%**増
- ・ 当期純利益は前年度比**66.8%**増

### ◇熊谷営業所 建替え

# 1. 2018年3月期決算の状況②

## ＜ 2018年3月期 連結損益計算書の概要＞

(百万円)

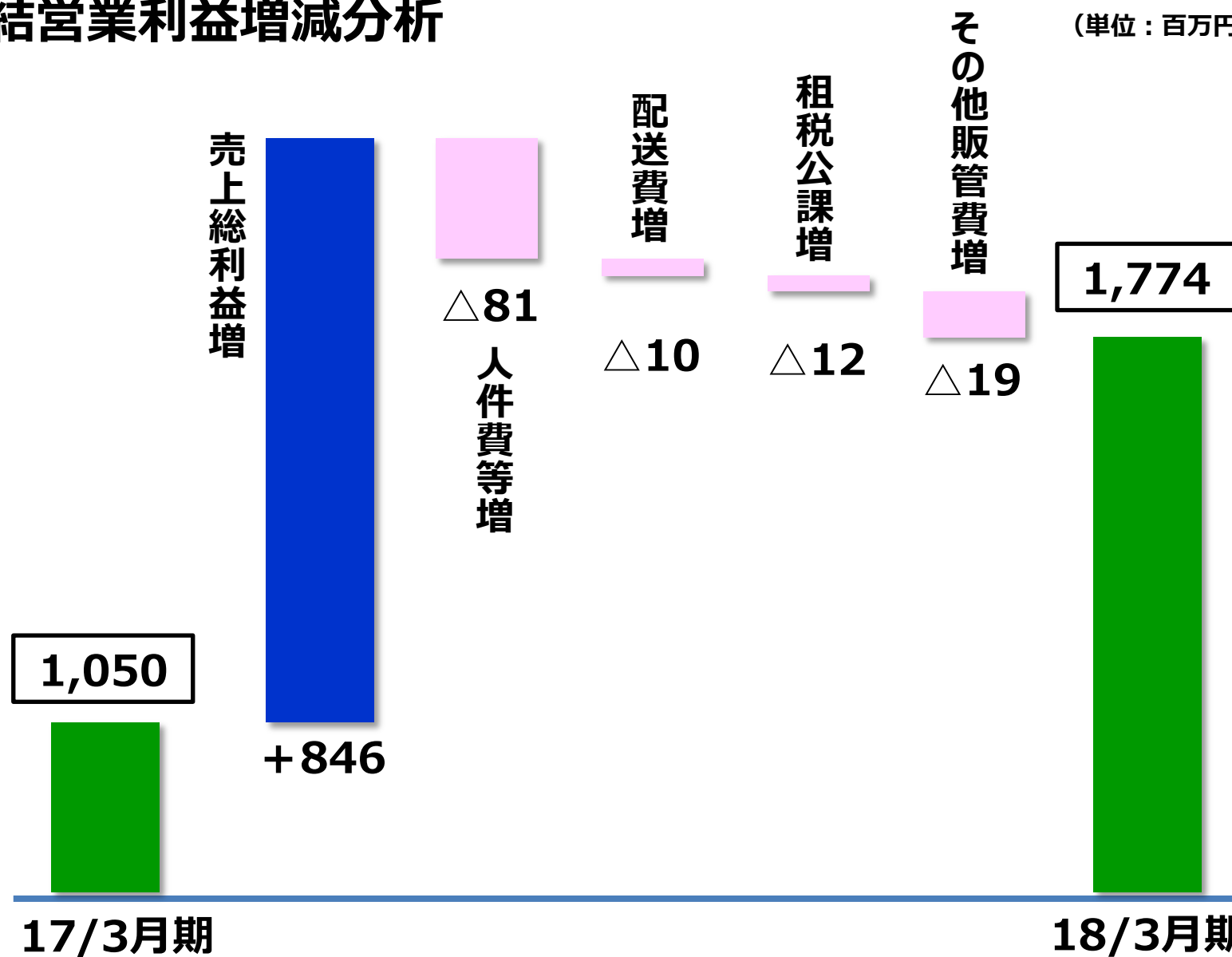
	17/3月期 前期	18/3月期 当期	前期比 (増減率)	備 考
売上高	22,185	28,500	28.5%	・半導体・電子部品関連及び自動車・車載部品向け増加 ・中国は、自動化・省人化ニーズが継続し F A 機器増加
営業利益	1,050	1,774	69.0%	・販売管理費増加
(営業利益率)	(4.7%)	(6.2%)	(1.5P増)	・販売管理費比率低下
経常利益	1,153	1,873	62.4%	・受取配当金増加 ・支払利息増加
(経常利益率)	(5.2%)	(6.6%)	(1.4P増)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	765	1,276	66.8%	
(当期純利益率)	(3.4%)	(4.5%)	(1.1P増)	

# 1. 2018年3月期決算の状況③



## 連結営業利益増減分析

(単位：百万円)



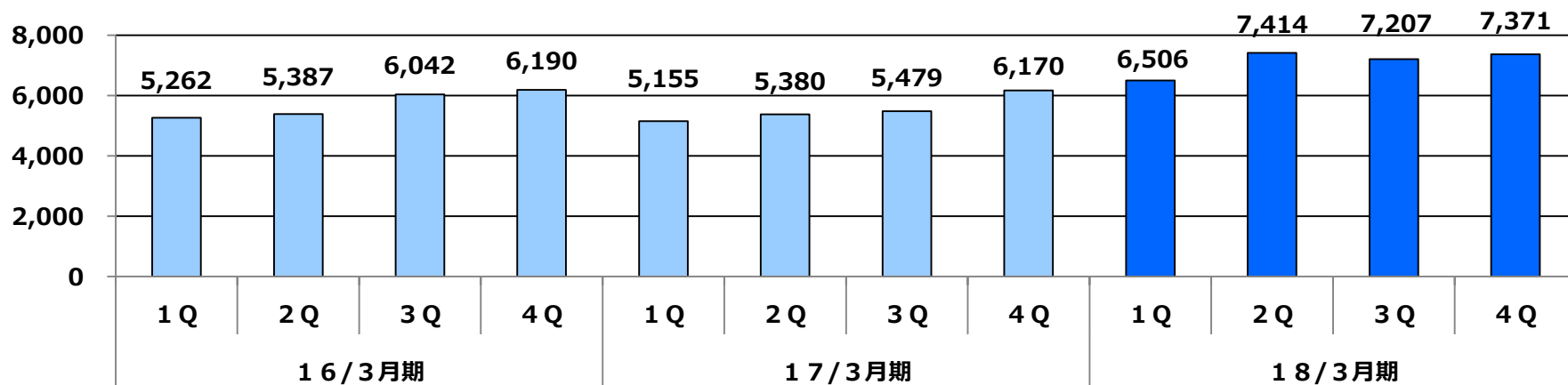
# 1. 2018年3月期決算の状況④



## 売上増加とともに営業利益率も続伸

(百万円)

### 売上高

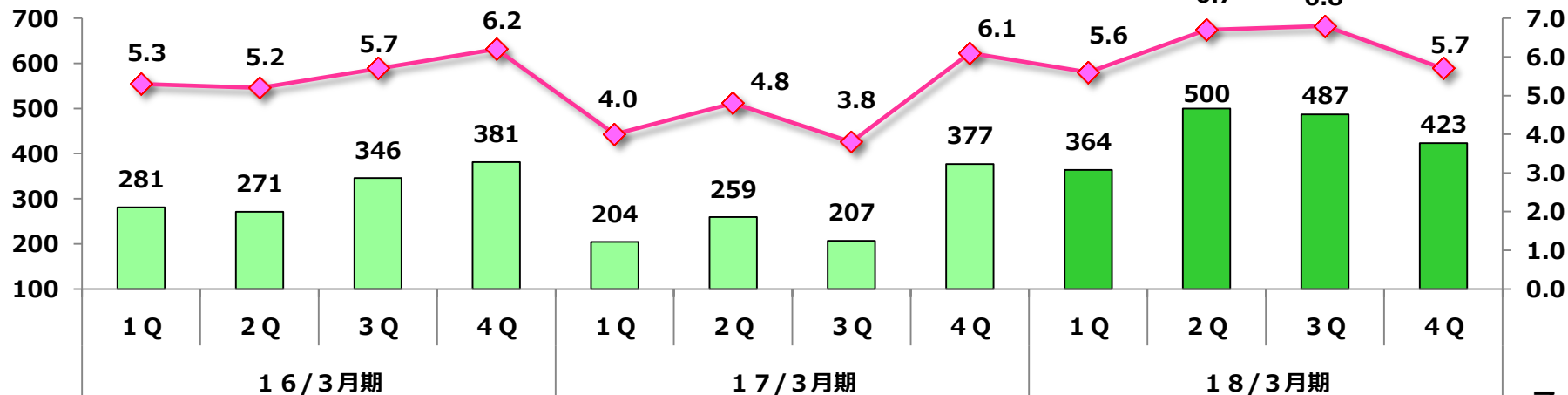


### 営業利益/営業利益率

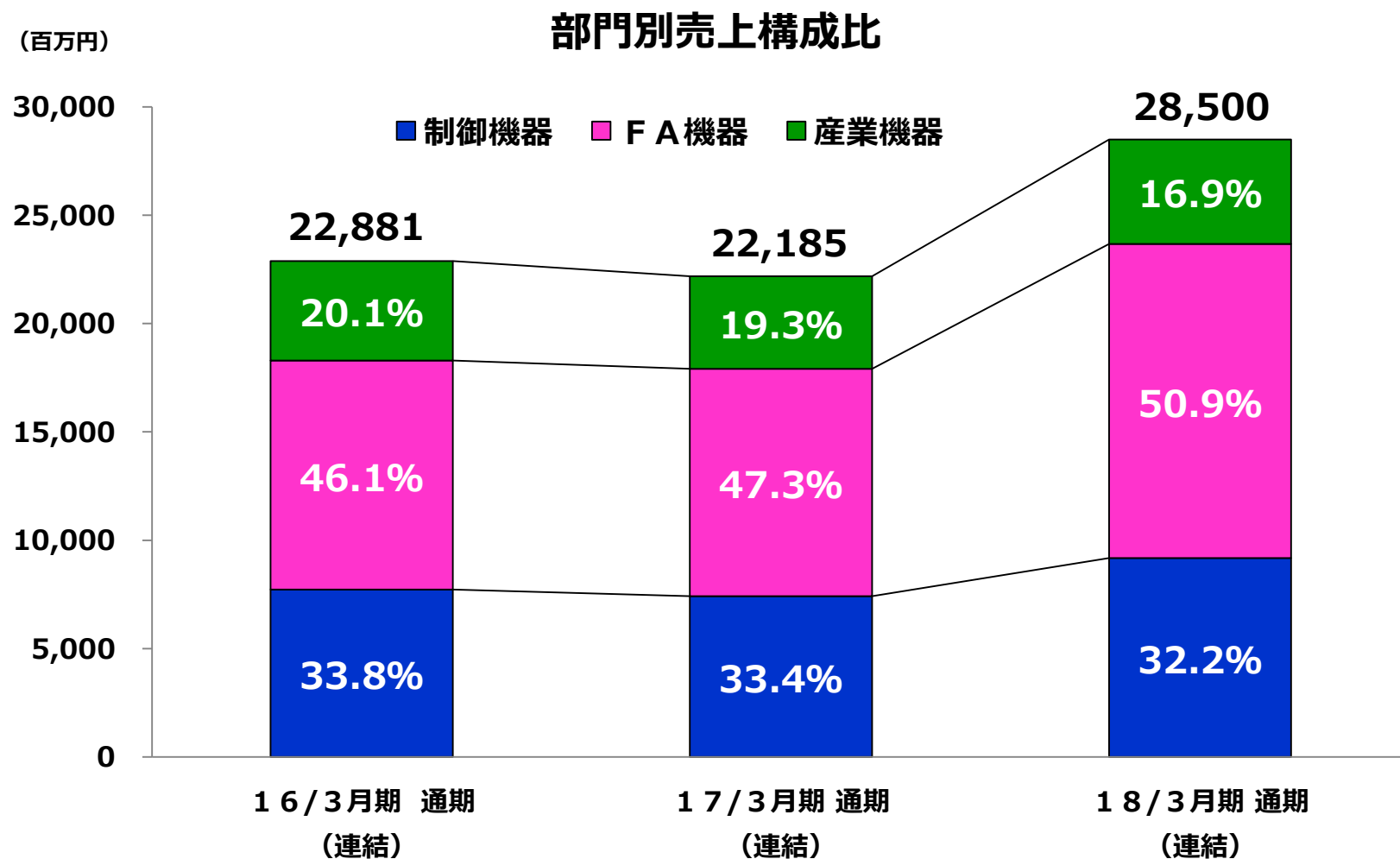
(百万円)

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

(%)



## 自動化ニーズ拡大によりFA機器シェアが大幅に拡大





# 1. 2018年3月期決算の状況⑥



## <連結貸借対照表>

(単位：百万円)

	17/3末	構成比	18/3末	構成比	備 考
流動資産	18,140	82.5%	20,881	80.7%	
現金・預金	9,426	42.9%	9,532	36.8%	
受取手形・売掛金 ※1	8,461	38.5%	11,056	42.7%	・売上高増加による売上債権増加
商品	110	0.5%	133	0.5%	
固定資産	3,853	17.5%	5,004	19.3%	・熊谷営業所の建替による固定資産増加
資産合計	21,994	100.0%	25,885	100.0%	
流動負債	6,611	30.1%	8,906	34.4%	
支払手形・買掛金 ※2	6,173	28.1%	8,070	31.2%	・仕入高増加による仕入債務増加
固定負債	336	1.5%	510	2.0%	
負債合計	6,947	31.6%	9,416	36.4%	
純資産合計	15,046	68.4%	16,469	63.6%	・当期純利益増加
負債純資産合計	21,994	100.0%	25,885	100.0%	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

# 1. 2018年3月期決算の状況⑦

## ＜連結キャッシュ・フロー計算書＞

(単位：百万円)

	17/3月期	18/3月期	備 考
営業キャッシュ・フロー	1,772	526	・売上高増加による売上債権増加
投資キャッシュ・フロー	△237	352	・定期預金の払戻及び預入、有形固定資産取得
財務キャッシュ・フロー	△433	△281	・配当金
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	8	
現金及び現金同等物の増減額	1,073	605	
現金及び現金同等物の期末残高	8,426	9,031	

## 2. 2019年3月期の業績予想

## <市場環境>

### ◆半導体・電子部品市場

- ・IoTの本格的実用化（ビッグデータ、クラウド化及びA I 技術等の活用）に伴い、全産業で半導体・電子部品の需要拡大が継続

### ◆産業用ロボット需要

- ・人手不足、熟練工不足による製造現場の自動化、省力化ニーズはさらに高まり産業用ロボット需要は拡大傾向が継続

### ◆次世代通信規格「5G」

- ・2020年運用開始に向けインフラ整備、端末開発及び「5G」を活用した新規サービスの開発拡大に期待

### ◆自動車・車載部品関連

- ・「CASE」開発への動きが活発

C : 「Connected」 …………… 外部・相互接続性を高める

A : 「Autonomous」 …………… 自律走行の実現を目指す

S : 「Shared & Services」 …… カーシェアリングなど多様なニーズに対応する

E : 「Electric」 …………… 電気自動車（EV）

## 2. 2019年3月期の業績予想（連結）



設備投資需要は2018年3月期と同水準に推移するものと予想

（単位：百万円）

	18/3月期	19/3月期予想	前期比 (増減率)
売上高	28,500	28,000	△1.8%
営業利益	1,774	1,740	△2.0%
(営業利益率)	(6.2%)	(6.2%)	
経常利益	1,873	1,850	△1.3%
(経常利益率)	(6.6%)	(6.6%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,276	1,250	△2.1%
(当期純利益率)	(4.5%)	(4.5%)	

## 3. 2019年3月期の活動

## ●設備投資旺盛な好調業種への攻勢

- ▶ 半導体製造装置、電子部品及び自動車・車載部品等に関連する得意先の設備投資需要の取り込み（既存得意先への拡販と新規得意先の開拓）
- ▶ 医療・食品分野等への販路拡大
- ▶ 内需型得意先の開拓拡大
- ▶ 当社主催『複合展示会』や外部主催の『大型展示会』へ出展しPR活動強化

## ●新商品（有望商品）の開発

- ▶ 同業他社と差別化できる高付加価値商品の開発

## ●海外拠点強化

- ▶ 海外子会社との連携強化（情報共有し当社販売網の活用）
- ▶ 新しい海外進出先の検討

## ●新しい事業領域の模索

- ▶ 当社の強みを活かした事業領域の拡大を検討

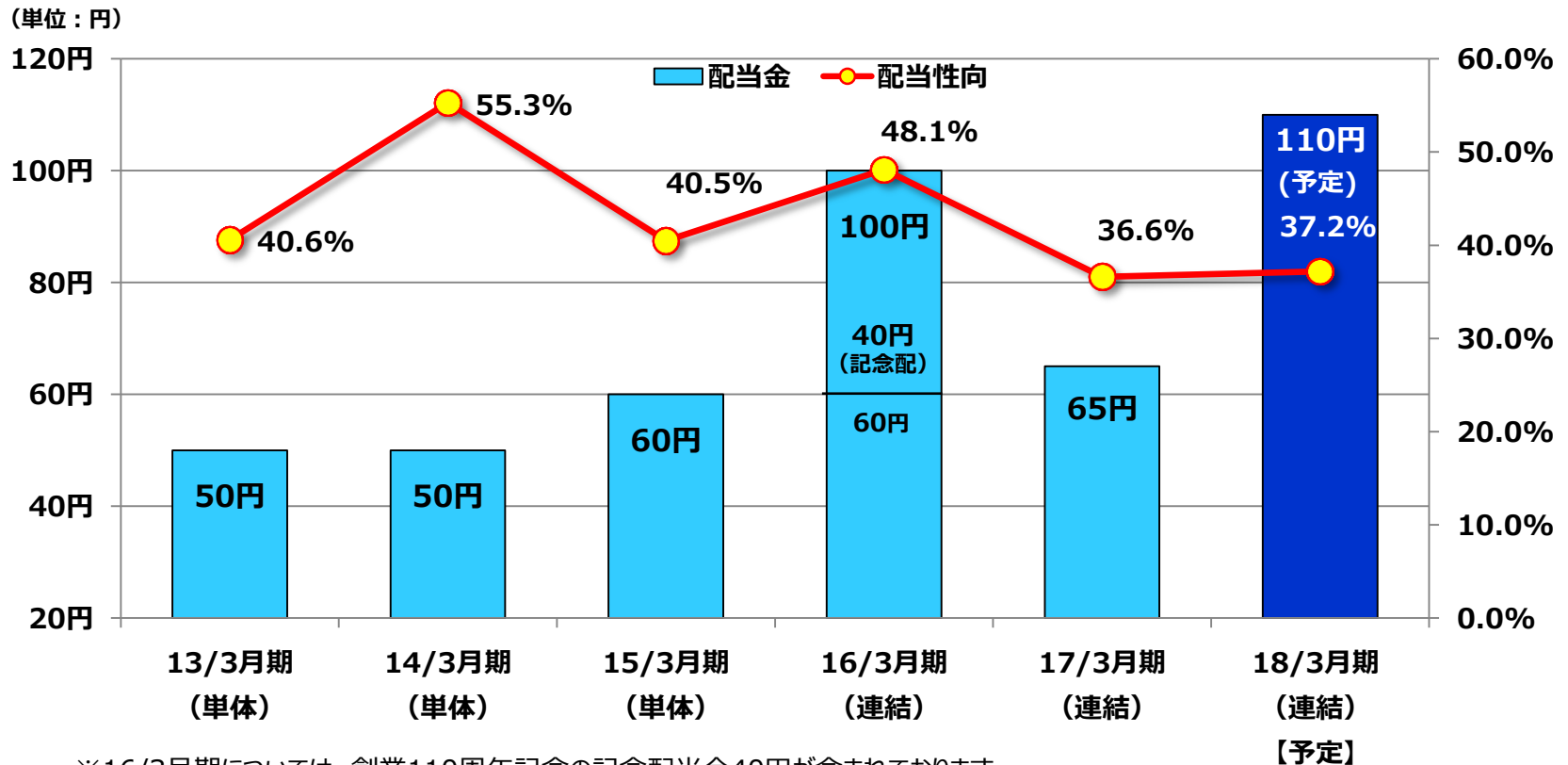
## ●営業力強化

- ▶ メーカー研修及び社内研修を強化し社員能力の向上
- ▶ 各メーカーSE資格取得推進

## 4. 株主還元



## 1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※16/3月期については、創業110周年記念の記念配当金40円が含まれております。

※配当性向については、16/3月期より連結での数字で計算しております。

### ■ 株主還元方針

- 1株当たりの配当金 **40円** を下限
- 連結配当性向は **35%** 以上

## ● 株主優待は「クオ・カード」を採用しています

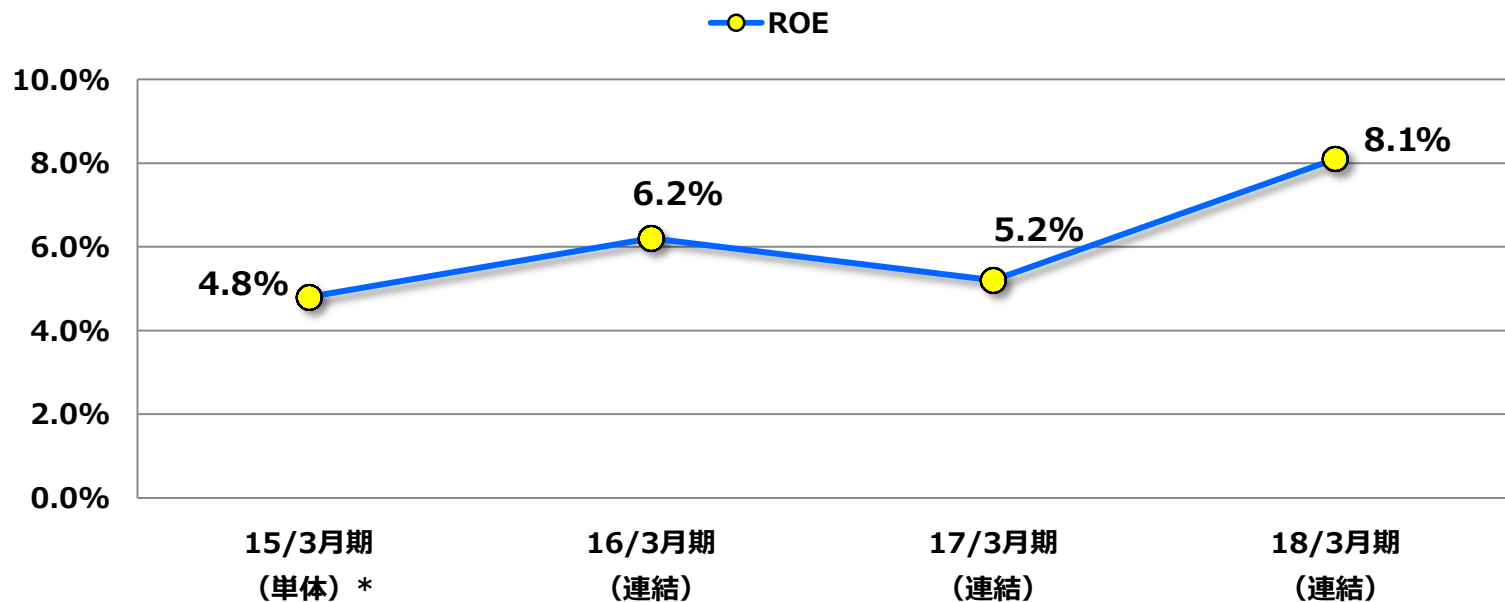


対象株主 (3月末時点所有株式)	単年度株主の場合	継続保有3年以上
1,000株以上	当社クオ・カード <b>(3,000円)</b> を進呈	当社クオ・カード <b>(6,000円)</b> を進呈
100株以上1,000株未満	当社クオ・カード <b>(1,000円)</b> を進呈	当社クオ・カード <b>(2,000円)</b> を進呈

＜クオ・カードの代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

## 中期経営目標 ROE 8%

ROEの推移



(\*) 15/3月期のROEは単体ベース

この資料には、2018年5月9日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

### [問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp